

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項の規定により議会の議決を経る必要があり、平成 29 年 12 月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市門司麦酒煉瓦館
所 在 地：門司区大里本町三丁目 6 番 1 号
敷地面積：5, 379㎡
煉瓦館：930㎡、駐車場：4, 449㎡
駐車場収容台数：普通車 148 台、大型及び中型車 1～2 台程度
(ただし、駐車スペースは普通車と共通)
構 造：煉瓦造 2 階建て (延床面積 468.29㎡)

(2) 指定期間

平成 30 年 4 月 1 日～平成 35 年 3 月 31 日 (5 年間)

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部
所在地：門司区大里本町三丁目 11 番 1 号
主な業務内容：大里本町に残る大正期に建てられた赤煉瓦建物などの貴重な歴史的建造物を後世に引き継ぐ保存活動を行い、それらを活かした街づくり事業を展開して、地域の活性化に寄与する業務を行っている。

2 指定の経緯

平成 29 年 7 月 10 日 募集要項配布
平成 29 年 7 月 31 日 募集説明会
平成 29 年 9 月 15 日 募集締め切り
平成 29 年 10 月 5 日 指定管理者検討会の開催
平成 29 年 10 月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ・施設の管理・運営、集客及び催事 (イベント・企画展等) を行う能力・ノウハウを有する法人、その他の団体であること (個人による応募は不可)

- ・ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの
- ・ 募集説明会に参加していること（共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること）

(2) 応募状況

説明会参加：4団体

応募件数：1団体（特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・ [学識経験者] 南 博（北九州市立大学地域戦略研究所教授）
- ・ [公認会計士] 福地 昌能（福地公認会計士事務所）
- ・ [まちづくりアドバイザー] 横田 きみよ（コンセプトピディア代表）
- ・ [マスコミ関係] 植田 詩生（西日本リビング新聞社リビング北九州編集長）

5 選定基準

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1 指定管理者としての適性	
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針	○市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	○長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3) 実績や経験など	○同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 ○施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。 ○複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2 管理運営計画の適確性	
【有効性】	
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	○施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。 ○施設の利用者の増加や利用者の拡大、利便性を高めるための実施可能な提案があるか。 ○複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。 ○施設の設置目的を達成するための地域との連携や協同による事業展開が図られるものであるか。 ○施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。

(2) 利用者の満足度	<p>○利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。</p> <p>○利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。</p> <p>○利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。</p> <p>○利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。</p> <p>○その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。</p>
【効率性】	
(3) 指定管理業務に係る経費及び収支計画の妥当性	<p>○指定管理業務に係る費用が妥当なものであるか。</p> <p>○経費を低減するための実現可能な提案があるか</p> <p>○利用料金の設定が適切であるか。</p> <p>○施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支計画の内容が合理的かつ、妥当なものであるか。</p> <p>○清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、適切な水準で行われているか。</p>
(4) 収入の増加に向けた創意工夫	<p>○収入を増加するための実現可能な提案があるか。</p> <p>○市に対して収益の一部を納付する提案や、補修・修繕費の一部負担の提案があるか。</p>
【適正性】	
(5) 管理運営体制など	<p>○施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。</p> <p>○施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。</p> <p>○施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。</p> <p>○職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。</p> <p>○地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。</p>
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	<p>○施設の利用者の個人情報保護のための対策が十分に考えられているか。</p> <p>○利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。</p> <p>○日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。</p> <p>○防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。</p>

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル				検 討 会 審 査 結 果	得点
			構 成 員					
			A	B	C	D		
特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部	1 指定管理者としての適性							
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	5	4	4	4	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	3	3	3
	(3) 実績や経験など	5	4	4	4	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性							
	【有効性】							
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	3	4	4	3	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	3	4	3	6
	【効率性】							
	(3) 指定管理業務に係る経費及び収支計画の妥当性	15	3	3	3	3	3	9
	(4) 収入の増加に向けた創意工夫	10	4	3	4	4	4	8
	【適正性】							
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	4	3	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	3	3	3	6
	合 計	100	66	70	70	66	—	72
地元団体に対する優遇措置（5点）								77

(2) 検討会における主な意見

- ・行政の観光施策、まちづくり施策等を十分理解した上で、施設の特徴を活かしながら、門司赤煉瓦プレイス内の他施設と連携したイベント等の事業計画が行われ、また、入館者目標も実現可能な提案が行われている。
- ・地元の方を中心に発足した団体が、門司麦酒煉瓦館等の貴重な建造物を保存・活用したいという熱意や、地域の活性化につなげたいという姿勢は評価できる。
- ・門司赤煉瓦プレイス内の他施設との一体的管理など、経費削減に取り組み、収入・支出とも無理のない妥当な計画となっている。また、収益の一部を市に納付する提案は評価できる。
- ・魅力的なエリアであるため、インバウンドやリピーター客等より多くの人に、施設の魅力や集客に向けた情報発信にもっと取り組んでもらいたい。

(3) 検討会における検討結果

応募団体について検討会で審査した結果、「指定管理者としての適性」については、3つの審査項目のうち、2項目が評価レベル4、1項目が評価レベル3となった。また、「管理運営計画の適確性」については、6つの審査項目のうち、3項目が評価レベル4、同じく3項目が評価レベル3となった。

このことから、全般的に市の要求水準を満たしており、十分な実績と管理運営能力を有していることが認められた。

以上、検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

- ・別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・施設の設置目的及び市の施策についてよく理解しており、門司赤煉瓦プレイス内の他施設との協働による複合的な事業展開など、集客や地域の活性化等に高い熱意を持った事業計画であり、今後の継続的な取り組みが期待できる。
- ・専門性の高い人材を配置・育成するとともに、他の地域団体との連携も強く意識されている。
- ・門司麦酒煉瓦館の業務委託を同プレイス内の他施設と一体的管理を行うなど、経費削減にも効果・効率的に取り組んでいる。また、市に対して、施設内の自動販売機収入の売上げ手数料の一部を納付する提案がなされるなど、収入増加に向けた意欲が感じられる。

提 案 概 要

(北九州市門司麦酒煉瓦館 指定管理者)

団体名：特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

北九州市門司麦酒煉瓦館の効用を最大限に発揮するためには、門司赤煉瓦プレイス内の各施設の連動性が重要であると平成 17 年のオープン以来訴えてきました。平成 25 年からの指定管理者としての北九州市門司麦酒煉瓦館の管理運営開始以来、念願であった門司赤煉瓦プレイス全体での一体感のある施設運営によって、地域の活性化及び地域コミュニティの形成促進、北九州市の産業観光の拠点としての役割、近代化遺産としての価値向上に寄与してきた私たちは、引き続き指定管理者としての適性を有した団体であると自負しております。

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤

【人的基盤】

特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部は、赤煉瓦建物の保存に熱意を持つ地元市民を中心とした団体です。その構成メンバーも地元商店街役員、郷土史研究家、市会議員、一級建築士、イベント会社代表、コンサルティング会社代表、テーマパーク社員など多種多彩な職種や才能を持った集団です。何より、地域のことを考え、行動し、生活し、変えていく市民団体です。

また、これまでの地域に根ざした活動により地元を中心に幅広く協力、支援を頂いており、組織の内外に盤石な人的基盤を築くことが出来ております。

【財政基盤】

特定非営利活動法人門司赤煉瓦倶楽部の事業収入

赤煉瓦交流館事業、赤煉瓦建物店舗（5店舗、延床合計 1,213 m²）貸付事業

寄付金、助成金、会費

収入：平成 27 年度 22,831 千円 平成 28 年度 23,411 千円

(3) 実績や経験など

門司赤煉瓦プレイス内の赤煉瓦交流館の運営を行っております。

門司赤煉瓦交流館では

- ・ 貸しホール
- ・ 貸しギャラリー
- ・ 貸し会議室の運営を常時行っております。

○平成 28 年度実績

赤煉瓦ホール 87 件 利用実績：8,968 人

A 会議室 174 件 利用者数：2,997 人

B 会議室 205 件 利用者数：4,086 人

利用件数総計 466件 利用者総数 16,051人

また、私たちは、同一エリア内の事業体として、北九州市門司麦酒煉瓦館開館以来、入館者増に向け、同施設の紹介と送客に積極的に取り組んでまいりました。

具体的には、

- ・フリーマーケット開催時
- ・視察受入時
- ・大会・シンポジウムの開催時
- ・赤煉瓦ホールにおける大規模イベント時の来館者等の送客を行って来ました。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

門司港レトロとの積極的な連携を図り、北九州市の新たな広域観光集客拠点を形成するとともに、新しいまちづくりにおける地域コミュニティ形成の場とし、幅広い市民のふれあいや交流を促進します。

- ①煉瓦やビールのイメージを活かした演出を用いアートなまちづくりを展開する。
- ②地域祭事との交流強化、他の観光施設との関連強化を図る。

(2) 利用者の満足度

利用者の満足を得るために、アンケートを実施し、展示内容・方法や利用状況などの感想や意見を収集する他、外部の専門家を招いてのワークショップを開催し、地域住民の方々の積極的参加を促すことを企画しています。

【効率性】に関する取組み

(1) 指定管理業務に係る経費

北九州市門司麦酒煉瓦館と赤煉瓦プレイス事務所が隣接しているため、管理運営費、特に人件費の軽減が可能になります。

- ①支出比率の高い割合を占める人件費を抑える努力を行います。
- ②施設管理の上で、様々なスケールメリットにより管理や委託コスト削減に徹します。

(2) 経費の低減や収入の増加に向けた創意工夫

収入の増加の為に下記の取組みを行います。

- ①積極的な営業活動を行います。
- ②エリア内のイベント等とリンクした商品開発やサービスの充実を図り、来館者満足の向上・来館者数のアップを目指します。
- ③駐車場においても一体感のある運営を行うことで利用促進をはかり、収入増加につなげます。

【適正性】に関する取組み

(1) 管理運営体制など

赤煉瓦の他の施設とともに管理することができ、層の厚い、きめ細かな管理体制を整えること

が出来ます。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① ①人権啓発の推進やバリアフリー対応、手話での対応など市民が平等に利用できるようなことで、受け入れについての阻害要因を作らない。
②申し込み後の許可審査を無くし、誰でもが利用できるようにする。
- ② ①事故防止・安全対策マニュアルの策定、従業者への研修
②事故発生時の対応、非常時訓練の実施
③事故発生時の連絡体制の整備
- ③ ①消防計画（防火管理規程）の策定
②避難・救出訓練計画の策定、非常時避難訓練の実施
③関係機関への通報及び連絡体制の整備

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

北九州市門司麦酒煉瓦館 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成29年10月 5日(木) 13:30~16:00
- 2 場 所 北九州市役所庁舎 15C会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、福地構成員、南構成員、
横田構成員
(事務局) 建築都市局整備部長、区画整理課長、
管理係長、担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
- 施設概要、選定基準、評価(採点)の留意事項について、事務局より説明
- 応募団体(特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部)による提案説明及び、構成員によるヒアリング

(構成員) 平成27年度の活動計算書で減価償却費が計上されていないが、減価償却しなかった理由は。

(応募団体) NPO法人の事業の中で、テナントの貸付収入が一番大きな収入の柱である。その中で売掛金等があって余裕がなく、このとき計上するのが最善ではないと考え、会計処理上の問題で計上しなかった。

(構成員) 利益プラス減価償却費の形で資金は徐々に増えていくとは思いますが、醸造棟の借地契約が一旦終わったあとの資金は大丈夫なのか。

(応募団体) NPOとしては、期限までに、ある程度資金を確保していくということだったが、それが今できていない状況なので、収益性の高い事業等を行うことによってNPO自体もしっかりとした運営を行っていきたい。そのためには、今の契約延長について貸主と協議をしている状況である。

(構成員) 今まで指定管理をしてきた中で、課題や改善点、また、前回選定時の提案と比較して今回より力を入れている提案等があれば教えてほしい。

(応募団体) これまで掲げた目標の中で、短期目標については、周辺施設と連携した駐車場の安定的な収益の確保が前回と比較すると生み出せている。中期目標としては、観光資源の活用面から産業観光の受け皿となるような取り組みの達成ができています。長期目標では、借地問題を解決するためにも潤沢なNPOとなりうる努力が今後の大きな目標だと考える。現場に関して言うと、赤煉瓦プレイス内全体のイベント情報や地

域との連携が大里地区を中心にイメージ付けできている。市政だより等の掲載もあり、煉瓦館での行事案内や、評判も広まっていると実感している。課題については、煉瓦館の中の展示物がしばらく変わっていないという部分に来館者からのご意見があるので、そういったところを改善しないといけないと考える。

(構成員) 来館者数について、展示内容を変えることが難しいとのことだったがここ3年間2万5千人前後を維持している。その中でもリピーターはどのくらいいるのか。

(応募団体) 来館者数に関しては、イベント来場の方と煉瓦館に入館する方を別に考えている。中には何度か定期的に来られる方もいるが、リピーターの方は、正直多くない。ただ、産業観光の方などまだ一度も来てない方はいるので、そこに向けて発信している。ごく一部ではあるが、マニアの方など定期的な来場者はいる。

(構成員) 情報の発信方法だが、先ほど言われていた市政だよりや、ポスターやチラシをどれくらいの数、どういったところに配っているのかと、他の発信方法があるのかについて教えてほしい。

(応募団体) WEB上の発信でいうと、市のホームページやフェイスブックがある。チラシの配布枚数は、大きなイベントをやるときは1イベントにつき約3千~5千枚を、市の出先や、交流のある企業、ギャラリーの利用者の方に配布している。一番効果があると実感しているのが、ギャラリーの利用者が口コミで他のお客に宣伝をしてくれることである。

(構成員) 門司麦酒煉瓦館のホームページを拝見したが、最新情報の更新が遅れているようだが。

(応募団体) システムに時々不具合が生じることがあり、現在改善中である。その際は、フェイスブックを更新することで対応している。広報部門でいうと、大里本町に居住している方々がイベント等の情報にとっても敏感なため、チラシを回覧板に差し込んだり、大里本町の居住にポストインしたりすることが有効であると実感している。地元のイベントという意識が高いので、イベントの際の広報は、大里本町エリアで効果を生む仕組みとなっている。

(構成員) 話を聞く限り、どうしても近隣住民の方へ向けての情報発信が大きくそれ以外の地区の方への発信が少し弱い気がするので、地区外の方への広報も強化していただきたい。来館者の中で、外国人の方はどのくらいいるのか。

(応募団体) コンスタントに個人で来るのが月に10名ほどで、グループでは月に2グループ、人数にすると40~80名程度の来館がある。

(構成員) 思っていたより少ない。

(応募団体) 麦酒煉瓦館に入るのは大体それくらいだが、ARKのレストランはインバウンドが多い。その方々を煉瓦館に送り込めていない状況である。近代化遺産の魅力がインバウンドにはまだ伝わっていないように思える。

(構成員) 今回の提案の中で、安全対策と危機管理のところは、他と比べて非常

に定型的な中身になっているが、応募団体として、特に気を配った点や成果があった点があれば教えてほしい。

(応募団体) 建物の安全面でいうと、かなり古い建物なので、建物に対する改修は考えていかないといけない。大里縁日や関門海峡花火大会などのイベント時は駐車場も含め大変な混雑が予想されるので、警備体制を特別に整えている。また、年末年始以外は常時開館しているので、赤煉瓦プレイス内で情報の拠点となっている。その他、アテンドには安全面や緊急時の対応について啓発したことが功を奏し、実際に倒れたお客様がいたときに、AEDを使って迅速な対応をすることができたという事例がある。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換を行った。

・「指定管理者としての適性」についての意見

(構成員) 施設の性質を把握した上で、門司赤煉瓦プレイス内の他施設との効果的な一括運営を行っている点や、当該施設に関する十分な知識、運営実績は評価できる。人的・財政基盤が、現時点では運営に問題ないが長期的な視点でみると安定しているか不明な点がある。

(構成員) 地元有志で発足したNPO法人であり、地域の活性化のために当該施設の有効活用をよく考えていると評価でき、施設存続への熱意が感じられる。定期借地している醸造棟の契約期限が到来する際の対応に不安も残るが、すでに運営実績があり、NPO法人としては健全運営であると認められる。

(構成員) 当該施設そのものに対する理解に加え、門司赤煉瓦プレイス内の他施設との連動した活動実績や熱意も高い。市の観光施策、コミュニティ施策、まちづくり施策の理解、関連性も評価できる。人的基盤については、地域に密着し、専門性も高い人材を有している。財政基盤については、将来の不安定要素はあるものの、一定の健全性は有していると思われる。

(構成員) 施設の設置目的や地域をよく理解した上で、提案されており、熱意は感じられる。これまでの実績も評価でき、また、業務に関する専門知識を有していると思われる。

・「有効性」についての意見

(構成員) 地域密着にこだわることなく、広報活動をもっと広域的に取り組むほうが、より集客につながる。

(構成員) 門司赤煉瓦プレイス内の他施設を応募団体が所有しており、一体的運営が容易で、これまでもイベント等一体的な運用が実施されている。行政が推進するフィルムコミッションとの連携も有効と評価できる。

(構成員) 当該施設の特性を熟知しており、それに基づいた積極的な事業が提案されている。地域との連携や広報活動も実績に基づいており、入館者

目標も実現可能な提案が行われている。観光客や地域住民等の多様な利用者のニーズを把握し、満足度向上につなげようとする姿勢が感じられる。

(構成員) 積極的な営業など目的達成に向けた取り組みが計画されているが、門司や大里地区以外への広報、認知度向上にもっと取り組み、当該施設への集客につなげてもらいたい。満足度向上に向け、利用者以外から声を聞くワークショップ展開は面白く、評価できる。

・「効率性」についての意見

(構成員) 収入増加に向けた具体的な提案が弱い気がするものの、収益の一部を市に納付する提案は評価できる。

(構成員) 収支計画は無理のない提案である。収益の一部を市に納付する提案は評価できる。

(構成員) 収入・支出とも門司赤煉瓦プレイス内との連携を意識した工夫が見られ、効率的で妥当な計画となっている。収益の一部を市に納付する具体策が示され、収入増加に向けた意欲が感じられる。

(構成員) 収入増加に向け積極的な営業活動など計画しているが、より踏み込んだ具体案が欲しいところ。収支計画は妥当に思われる。

・「適正性」についての意見

(構成員) 地域一体となって一生懸命努力している点や、地域での雇用を生み出そうとしている点は評価できる。

(構成員) 専門性が高い人材が配置・育成され、また地域団体との協働も強く意識されている。平等利用等については、必要な対策は講じられている。

(構成員) 少人数で合理的な配置計画が行われている。平等利用等については、一般的に想定される対策である。

○ 協議の結果、検討会として評価レベルを、

- ・ 適 性 (1) 施設の管理運営に対する理念は 4、
(2) 人材基盤や財政基盤は 3、(3) 実績や経験は 4
- ・ 有効性 (1) 施設の設置目的の達成は 4、(2) 利用者の満足度は 3
- ・ 効率性 (3) 経費及び収支計画は 3、(4) 収入増加の創意工夫は 4
- ・ 適正性 (5) 管理運営体制は 4、(6) 平等利用等は 3 に決定した。

○ 事務局が合計得点を発表し、検討会としての検討結果(総合的な所見)について、次の発言があった。

(構成員) 当該施設を活かしたイベント企画など、地元の活性化や集客につなげようとしている努力は評価でき、今後も継続してもらいたいと思う。魅力的なエリアであるため、インバウンドやリピーター客等より多くの人に、施設の魅力や集客に向けた情報発信にもっと取り組んでもらいたい。

- (構成員) 地元の方を中心とした団体が、地元の活性化のために頑張ろうとしている熱意が一番評価できる。一方、非営利団体で、大きな資本があるわけではないので、定期借地している醸造棟については行政もしっかり支援して欲しい。
- (構成員) 門司赤煉瓦プレイス内の他施設との一体性及び地域密着型の団体としての特性を活かした、具体的で高い熱意を持った計画となっている点は、指定管理者として相応しいと考える。また、当該施設が周辺地区及び門司区、北九州市全体の活性化にも寄与していくことが期待できる。
- (構成員) 門司赤煉瓦プレイス内の他施設との一体的管理のメリットを活かした運営計画や、活発な事業計画が提案されていると評価できる。当該施設の魅力発信や地区外への広報について、もっと強化してもらいたい。これまでの実績に甘んじることなく、謙虚にイベント等の事業を育てて欲しいと思う。

以上、最終的な取りまとめを行い、市に対し、検討会として応募団体が十分な管理運営能力を有し、指定管理者の候補として相応しいと報告した後、検討会を終了した。